



# つなぐ TSUNAGU タイムス Vol.1



認知症地域支援推進員通信 2018年4月15日号

発行：認知症支援・介護予防センター  
北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号  
TEL 093-522-8765

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/ninkai-center/index.html>



## 北九州市の認知症地域支援推進員（専任）です。よろしくお願ひします。

八幡東・八幡西・戸畑・若松担当



野澤 陽子  
のさわ ようこ

この春より活動させていただきます。多くの皆様と色々なお話ができればと思っております。アルトサクソを始めましたので昭和モード歌謡を演奏したいと思います。

門司・小倉北・小倉南担当



松岡 由佳  
まつおか ゆか

平成29年12月より勤務させていただいております。皆様との出会い、ふれあいを楽しみに市内各地に足を運びたいと思います。パンが好物なので今年は美味しいパン屋さん巡りをしたいです。

全域/模擬訓練・サロン支援担当



中村 真理子  
なかむら まりこ

市民センターから転身して早3回目の春。地域、事業所の方々との出会いが楽しみです。お気軽に声をかけて下さいね。動物番組を見る度にネコ飼いた〜と思います。モフモフにあこがれる今日この頃。

「5万人が生活する大都市で、たった3人では少ないじゃないか？」という声も聞こえそうですが、専任で配置されている市町村は希少です。医療機関や、各区に配置されている「地域支援コーディネーター（国の名称では生活支援コーディネーター）」とも密に連絡を取りながら、できる限り現場に出向いて、できることから活動を積み上げていきたいと考えています。お気軽に声をかけてください。

※参考 平成28年度認知症ケアセミナー 永田久美子氏  
認知症地域支援推進員の活動と認知症の人にやさしいまちづくり

【中村】

「何をやる人なのかよく分からない」と言われます。認知症の方への支援体制として誕生した「私たちの役割」について少し説明させていただきます。



認知症地域支援推進員ってなぬ？

「もし自分が認知症になったら、このまちで暮らしていいのだろうか？」と考えたことはありませんか？以前は認知症になると「どんな症状が悪化し、その先の人生は真っ暗」と捉えられていました。最近は研究が進み、周りの理解や支援、何よりも「社会」とのつながりがあれば、よりよく暮らせることが分かってきました。急ピッチで、サービスや支援も増えてきていますが、一方で「どんなしくみや支援があるのか、よくわからない」「必要な時に必要なものにつながらない」「関係者がバラバラで、無駄や無理が多い」というようなミスマッチも起きていました。そこで、①地域の人や組織をバラバラのままではなく、「つなぐ」②認知症の人への理解と対応力を高める③（早めの）相談を大切にして、本人・家族が必要なことにつながる流れをつくるという役割を担うものとして誕生したのが「認知症地域支援推進員」です。

## 認知症にやさしい小さな図書館



当センター5階の「カフェ・オレンジ」内の一角に「認知症」に関する図書のコーナーを設置しています。

書籍の種類は「認知症の予防」、「認知症を理解する」、「認知症の本人からのメッセージ」、「介護記録」等多種に渡ります。

カフェ・オレンジを利用される方は、高齢者の方からお子様連れのお母さん、学生さん、介護事業所の関係者の方等様々ですが、絵本のように短くて読みやすいものから、より専門的な内容のものもありますので、「あ、これは興味深い」と思っていただけの一冊に出会えるのではないかと思います。また、今後もう少しづつ書籍を増やしていく予定です。ご期待ください。

残念ながら書籍の貸出しはしておりませんが、カフェで過ごされる間にゆつくりと目を通していただくことができます。皆さまから読書後の感想を聞かせていただければと思っておりますので、ぜひ一度カフェ・オレンジまで足を運んでみませんか？



書籍は項目別に分類しています



おすすめの本コーナー

【松岡】

## 運営推進会議と模擬訓練

過日、福岡県グループホーム協議会の研修会に参加させていただく機会がありました。事例発表の中で2例が、認知症搜索の模擬訓練に地域が取り組むきっかけとなったのが、運営推進会議で出した話題だったというお話でした。運営推進会議は、本来事業所の運営の様子を伝える場ですが、そのことに終始せず、参加している地域の役員さんや民生委員さんが、ふと漏らした地域の「高齢化」や「安心・安全」への心配をしつかり受け止める！素晴らしい連携だと思いました。

地域は常に多種多彩なことに取り組んでいる半面、支え手の人数は決して多くはないというジレンマを抱えながらひた走っています。運営推進会議での聞き取りと「一緒にやりませんか？」の一言で新たに模擬訓練に取り組める地域があるかもしれません。会議という枠にとらわれずに地域とより近い関係性を構築する場として、事業所の皆さんの運営推進会議が機能していくといいなとしみじみ思いました。

【中村】

## ゆのみゆ

コラムのタイトル何にしよう？今回は回文でいこうと決め、最後まで候補に残ったのが、この「ゆのみゆ」と「ひるめしのたのしめるひ」。なかなか回文は趣がある。湯呑みという器に合わせて如何様にも形を変え、やさしく喉を潤す「ゆのみゆ」でありたい。そんな想いを込めた。これから初夏に向かう梅雨前の短い晴天の時は、一年のうちで最も好きな季節。木々の緑が日の光を一杯浴びて色濃くなる。希望も期待も降り注ぐよう。さあ、出かけよう！

(な)



平成30年度

### SOS ネットワーク交流会

- ◇5月26日(土)13:30~16:00
- ◇於:総合保健福祉センター  
(アシスト21)2階講堂
- ◇模擬訓練を実施した地域・事業所、これからやってみようとお考えの方々にお集まりいただき、知恵や成果を共有します。



参加申込は  
TEL (093)  
522-8765  
(中村・角田) まで